

流通とSC・私の視点

2011年1月2日

視点(1368)

先進国家研究と志!!

日本は歴史上に4回、外国の影響により運命を変えた出来事が起こりました。それは下表の通りです(六車流：マーケティング理論)。

	第1回	第2回	第3回	第4回
時代	天平・奈良時代	戦国時代	明治維新时期	第2次世界大戦後
影響相手国	中国(唐)	スペイン・ポルトガル	欧米	アメリカ
基軸技術	仏教	鉄砲	近代技術	高度生産システム
目指したもの	仏教の精神に基づく律令国家づくり	最先端兵器による天下布武の安定国家づくり	開国後の近代技術による富国強兵の国家づくり	アメリカ式の高度生産システムによる経済大国づくり
成果	奈良時代・平安時代の安定した国家体制ができた	徳川幕府により260年間の平和国家ができた	極東の小国が5大国家となり、世界を相手に戦争をするまでに発展できた	世界第2位の経済力と国民所得を有する豊かな経済を確立した

①第1回の先進国家の模倣

日本が「仏教」を国の精神的柱として、国の安泰と国民の幸せを目指し、その模範とする先進国が「中国(唐)」でした。この第1回の外国の影響は日本が望んだものであり、先進国である中国から学びました。

②第2回の先進国家の模倣

100年に及び乱世が続いた戦国時代において、当時の最新兵器であった鉄砲を「ポルトガルやスペイン」から学び、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康が天下布武(武士が天下を統一して、平和な国家を確立する)を掲げて平和で安泰な国家をつくり、江戸時代には現在の日本文化の礎が築られました。この第2回の外国の影響も、先進技術を自ら進んで学んだものです。

③第3回の先進国家の模倣

黒船襲来により、強制的に欧米文化を導入せざるを得なくなりました。しかし、旧体制派(徳川政権)に対して、改革派(薩長連合を中心とした諸藩)は欧米文化を積極的に取り入れ、日本を欧米列国の植民地化から守りました。この第3回の外国の影響は黒船による強制的な模倣でしたが、新体制派が見事に取り入れて経済的・軍事的に強力な国家を形成し、アジアで唯一(タイも)植民地化されませんでした。

④第4回の先進国の模倣

第2次世界大戦に敗れることにより、強制的にアメリカの文化が日本に導入されました。同時に、日本の政治家や経済人は戦後、アメリカの経済・生産体制を見て、よくもこんな国家と戦争したものだと思いい、アメリカの経済・生産システムを積極的に学び、その後、世界第2位の経済大国にまで日本経済を確立しました。この第4回の外国の影響は強制的なものでしたが、日本を軍事大国ではなく経済大国として再建するために、自らも進んで模倣しました。

これまでの4回の歴史上の先進国家の模倣における共通点は、「技術(広義)」を学び日本独自に進化させたことですが、第2次世界大戦後の第4回の模倣が第1～3回までと違うことは、「志が希薄」なことです。第1～3回までの先進国家の模倣は国家の確立という高い志があったのに対し、第4回の模倣は、日本の歴史上初めて国が敗れたとはいえ、経済再建のみに邁進した結果、「国家なくして経済再建」という現状になり、長続きしない経済繁栄となってしまっています。国家あって経済があるという考え方でないと、今後も単なる模倣となり、「大儀」ある「したたかな志」のある模倣とはなりません。

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代表 六^む軍^{ぐん}秀^{しゅう}之